

一時間位ノ餘裕ナシト云フヘカラス、若シ今假リニ一日一時間ノ餘裕ヲ得テ一頁草シ得ンカ、一年ニ三百六十頁ヲ草シ得ヘク斯クシテ一部ノ名篇著作ヲ得ルハ敢テ難事ニ非ス、若シ亦一日ニ一頁ヲ草スル能ハサレハ半頁ニテ可ナリ斯クシテモ尙二年ノ短時日ヲ費サハ一部ノ有益ナル名著佳作ヲ社會ニ供給シ得ヘシ

尙一片吾敬愛スル諸先輩及ヒ諸博士ニ敢テ苦言ヲ呈セントスルハ講演ナリ、之レモ歐米ノ諸先輩カ機會ヲ得ル毎ニ各種ノ席上又ハ會合ノ卓上ニ於テ盛ニ其學說或ハ實驗談ヲ常ニ吐露スルニ反シ、吾諸先輩及ヒ諸博士ハ重ニ斯カル場合ニハ多ク沈黙ヲ守リ強テ或ル講演又ハ談話ヲ乞フニ非レハ決シテ發言ヲ好マス、歐米人ノ進ンテ自ラ其蘊蓄ヲ吐露セント努ムルトハ全然反對ナリ之レ或ハ東洋君子國ノ美德ニシテ強テ己ノ學識ヲ表示セントスル如キハ探ルニ足ラサル所也ト云ハハ夫迄ナルモ、之レ決シテ後進子弟ヲ扶導誘掖スルノ途ニ非ルヘシ抑モ土木工學カ社會ノ進歩ヲ助長スヘキ唯一ノ學術タル以上ハ、願クハ古來ノ東洋君子ノ退嬰主義ニ倣ハス進ンテ各其研究スル所ヲ發表シ以テ社會ノ進運ヲ助長スルト同時ニ吾人後輩ヲ教導指育サレン事ヲ(完)

## 土木學會設立ニ就テノ希望

工學士會 山 親 民

- 一、土木工學ニ關スル日新ノ學說ト各地工事ノ實例ヲ討議研究スルコト
- 二、本會ニ於テ發表討議スルモノハ豫メ提案者ヨリノ原稿ヲ本會議前ニ會員ニ配布シテ熟讀考究

スルノ時日ト餘裕ヲ與フルコト

三、各種ノ土木工事ニ適用スヘキ模範仕様書類ノ制定ヲナスコト

四、工用材料ノ品質及其検査方法等ヲ定ムルタメ各種ノ使用サレタル材料ニ對シ實蹟ヲ調査シ其結果ヲ發表スルコト

五、各種ノ工事ニ對シ例ヘハ道路、水道、鐵筋混凝土等ノ如キ各専門ニ區別シテ委員ヲ設ケ本邦ノ現狀ニ對スル最モ適當ナル設計及施工方法等ノ標準ヲ定ムルコト

六、重大ナル工學上ノ事故等發生シタル場合ニハ其原因其他該事故ニ關スル調査委員ヲ設ケ之カ調査ヲ爲シ其結果ヲ發表スルコト

七、本會ノ會誌ハ學理的研究ノ機關タルト同時ニ實地施行セル工事ノ専門的詳細ナル報告ヲ爲スノ機關タラシムルコト

八、本會ノ會誌ニハ土木工學ニ關スル我大學及高等ナル専門學校ニ於テ研鑽セル事項ノ經過及成績ヲ發表スルコト

九、内外各種ノ重要ナル土木工事ノ情況ヲ報道スルコト

十、土木工學ニ關係ヲ有スル者ノ需要及就職ノ便ヲ開ク機關タラシムルコト(完)